


ICT 学習支援教材コンテンツ活用実践事例

| | | 学校名 | 青森県立七戸養護 | 学校 |
|-----------|--|--|----------|--|
| 授業について | 教科領域名 (✓又は■で記入する。) | <input checked="" type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 算数・数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 外国語・外国語活動 <input type="checkbox"/> 生活 <input type="checkbox"/> 音楽 <input type="checkbox"/> 図画工作・美術 <input type="checkbox"/> 体育・保健体育 <input type="checkbox"/> 技術・家庭 / 職業・家庭 / 職業 <input type="checkbox"/> 特別の教科 道徳 <input type="checkbox"/> 総合的な学習（探究）の時間 <input type="checkbox"/> 日常生活の指導 <input type="checkbox"/> 生活単元学習 <input type="checkbox"/> 作業学習 <input type="checkbox"/> 遊びの指導 <input type="checkbox"/> 特別活動 <input checked="" type="checkbox"/> 自立活動 <input type="checkbox"/> その他（ ） | | |
| | 単元(題材)名 | あいうべ体操をしよう | | |
| | 単元(題材)の目標 | イラストに合わせて口を動かし、スムーズに口唇を動かすことができる。 | | |
| 学習集団と実 | 学部・学年・人数 | 小学 | 部 | 5 年 2 人 |
| | 本単元(題材)における学習集団の主な実態 | ※個別学習の場合は、個人の本単元(題材)における主な実態を端的に記入する。 発音が不明瞭で口の動かし方にぎこちなさがある。 | | |
| ICT活用について | 使用した支援機器・教材の名称 | ※使用した ICT 機器（入出力支援装置等）名を記入する。 iPad | | |
| | 使用したアプリケーションの名称 | ※使用したアプリケーション名を記入する。 Keynote | | アプリマーク  |
| | 主な活用の用途 (✓又は■で記入する。) | (複数選択可能) <input type="checkbox"/> コミュニケーション支援 <input type="checkbox"/> 活動支援 (<input type="checkbox"/> 情報入手支援 <input type="checkbox"/> 機器操作支援 <input type="checkbox"/> 時間支援) <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援 (<input checked="" type="checkbox"/> 教科学習支援 <input type="checkbox"/> 認知発達支援 <input type="checkbox"/> 社会生活支援) | | |
| | ICT活用のねらい | あいうべ体操を通して発音の不明瞭さを解消する目的があったが、マスクなしで発音しなければならぬ活動となるため、コロナ感染症対策の観点から教師と向き合っの指導に難しさを感じていた。一人一人の iPad に作成し、個人で使用することで感染症対策をしながら取り組むことができるのではないかと考えた。 | | |
| 活用の状況と支援 | ※ICT 活用場面と行った支援について記入する。 ・ Keynote 機能を使用してあいうべ体操の手順を示し、一人で行えるようにした。 ・ スライドを 1.5 秒で切り替わるように設定した。 ・ あ〜べまでで 1 回とし、10 回繰り返すこととした。 ・ 1 回ごとに背景の色を変え、終わりがわかりやすいようにした。(10 回目の背景は赤とした) ・ イラストを見ながら口を開けたり、発音をしたりして意欲的に取り組むことができている。 | | | |